

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和元年度第2回高松市国際交流推進協議会
開催日時	令和2年1月15日(水)午後1時30分～2時30分
開催場所	高松市防災合同庁舎3階 302会議室
議 題	(1) 会長、副会長の選任について (2) 高松市の国際交流事業について (3) その他について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席者	<委員> 稲井委員、岡田委員、塩田委員、篠原委員、清水委員、太良尾委員、 時岡委員、徳田委員、平田委員、 <オブザーバー> (公財) 高松市国際交流協会常務理事 <市> 創造都市推進局長、文化・観光・スポーツ部長、観光交流課都市交流室 (事務局)
傍聴者	2人 (定員 5名程度)
担当課及び連絡先	観光交流課 都市交流室 (Tel.839-2197)

### 審議経過及び審議結果

#### 議題(1)について

- ・互選により、徳田委員を会長に選出
- ・互選により塩田委員、時岡委員を副会長に選出
- ・会議の公開について承認

#### 議題(2)について

事務局の説明に対し、下記の意見があった。

○来年の中国南昌市との友好都市提携30周年記念事業については。

●公式訪問団の相互派遣や記念式典の開催等を予定しているところではあるが、詳細が未定のため、また別の機会に報告させていただく予定である。現在、予算の調整中ではあるが、来年度早々に実行委員会を立ち上げて、そこで事業内容等を協議していただこうと考えている。

○南昌市近郊の大学から、大学間の交流などについていろいろ連絡をいただいているので、できれば委員の皆様にも早めにお知らせいただければと思う。

○8月にレクザムフィールドで、台湾パラ陸上の事前合宿を行うとのことだが、高松市として、それにあわせて何かイベントをする予定はあるか。

●事前合宿にあわせたイベントは予定していないが、全面的なサポートをする予定である。

受入期間は8月12日～17日、人数は10～20人で台湾のパラリンピアン及びその関係者が参加する予定である。

○できるだけ多くの市民に知っていただき、参加していただくことが大変重要だと思う。それに向けて、もちろん我々も協力していかないといけないと考えている。

#### 意見交換

○今年、基隆市との交流は予定しているか。

●高松市として行事は予定していないが、高松市の弦打小学校と基隆市の信義小学校が協定を締結し、子どもたちだけではなくPTAや地域の交流が始まるなど、活発な民間交流が行われている。

○民間の協定ということであれば、高松市日中友好協会も一昨年、大連市中日友好協会と交流協定を締結し、相互訪問等を通して民間交流を進めている。また、高松・南昌友好会館にこれまで60人以上の日本語講師を派遣しており、今後も日本語講師の派遣について応援をお願いしたい。

○企業の方が最近、人がいないと言っており、人を育てる必要があるということを実感している。将来海外とのビジネスをするのは、現在10代～30代の若い人たちなのかなと感じているため、今回紹介していただいたようなこういう取組は必要だと思っている。また、子どもたちに海外に対する視点を常に意識させることが、我々大人の責任だと思っている。

○フランスのトゥール大学から香川大学に協定を結ばないかという話があった。今年、香川大学ではフランスに力点を置いた年にしていきたいと思っている。

○海外に仕事で駐在している時、依頼されて県人会をつくった経験がある。国際交流をする際の現地の受皿の団体は少ない資金で活動しているので、そういうところにも支援が回るといいかなと考えている。また、海外には子どもと一緒に駐在しており、子どもが現地の日本人学校に通っていた。日本に帰ってきて、外国人に対して自然に対応できるというのは子どもたちから国際交流をしている成果の1つなのかなと感じた。また、現在、技能実習生については様々な問題があり、受入環境を改善していくことで、受け入れられている外国人の高松への印象がよくなると思う。

○街で外国人に質問された時に、軽く返事ができるような街になればいいと思う。職場に外国人の方が来た時、通訳の方が帰ってしまっていて対応に困った。今回の会議で「やさしい日本語研修会」が開催されると伺ったので、資料をいただいて参考にしたい。

※ ○委員 ●事務局